

FinTechと貨幣の将来像

2016年11月18日

株式会社インキュリオン・グループ 代表取締役
丸山 弘毅

自己紹介



- 1999年 株式会社ジーシービー入社
 - ・ビッグデータ（リスク分析・マーケティング）
 - ・事業開発・M&A
- 2006年 株式会社インキュリオン・グループ創業
- 2015年 一般社団法人 FinTech協会設立
代表理事に就任



Consulting

株式会社インキュリオン



決済事業コンサルティング

Solution

株式会社リンク・プロセシング



スマホ決済

Solution

株式会社ネストエッグ



自動貯金アプリ

Survey / Publishing

株式会社カードウェーブ



決済業界調査・出版

FinTech協会 会員



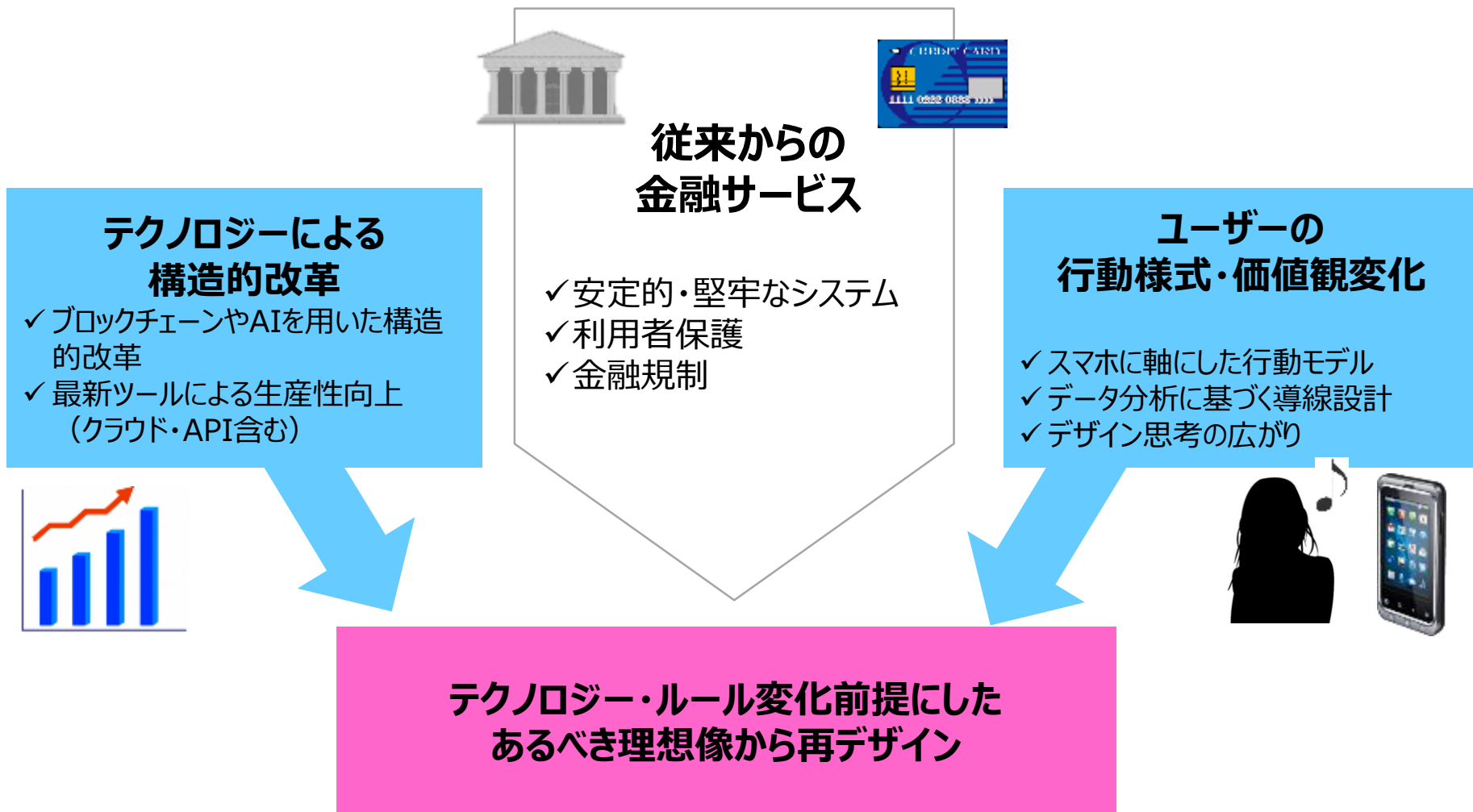
FinTechベンチャー60社、日本を代表する企業約110社参加



FinTech協会 HPより（一部抜粋）

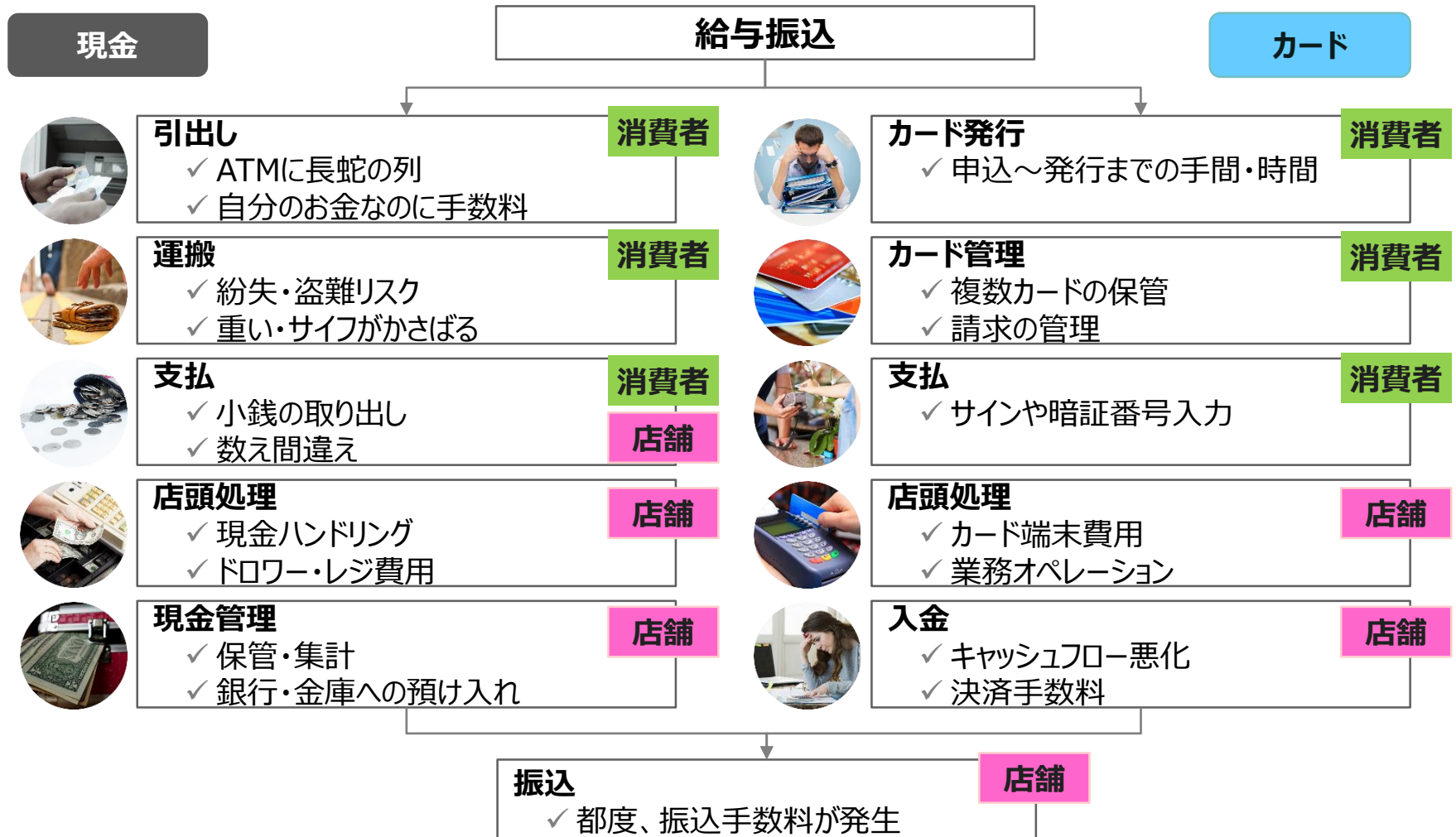
FinTechの意義

FinTechは、単なる金融とITの融合ではない



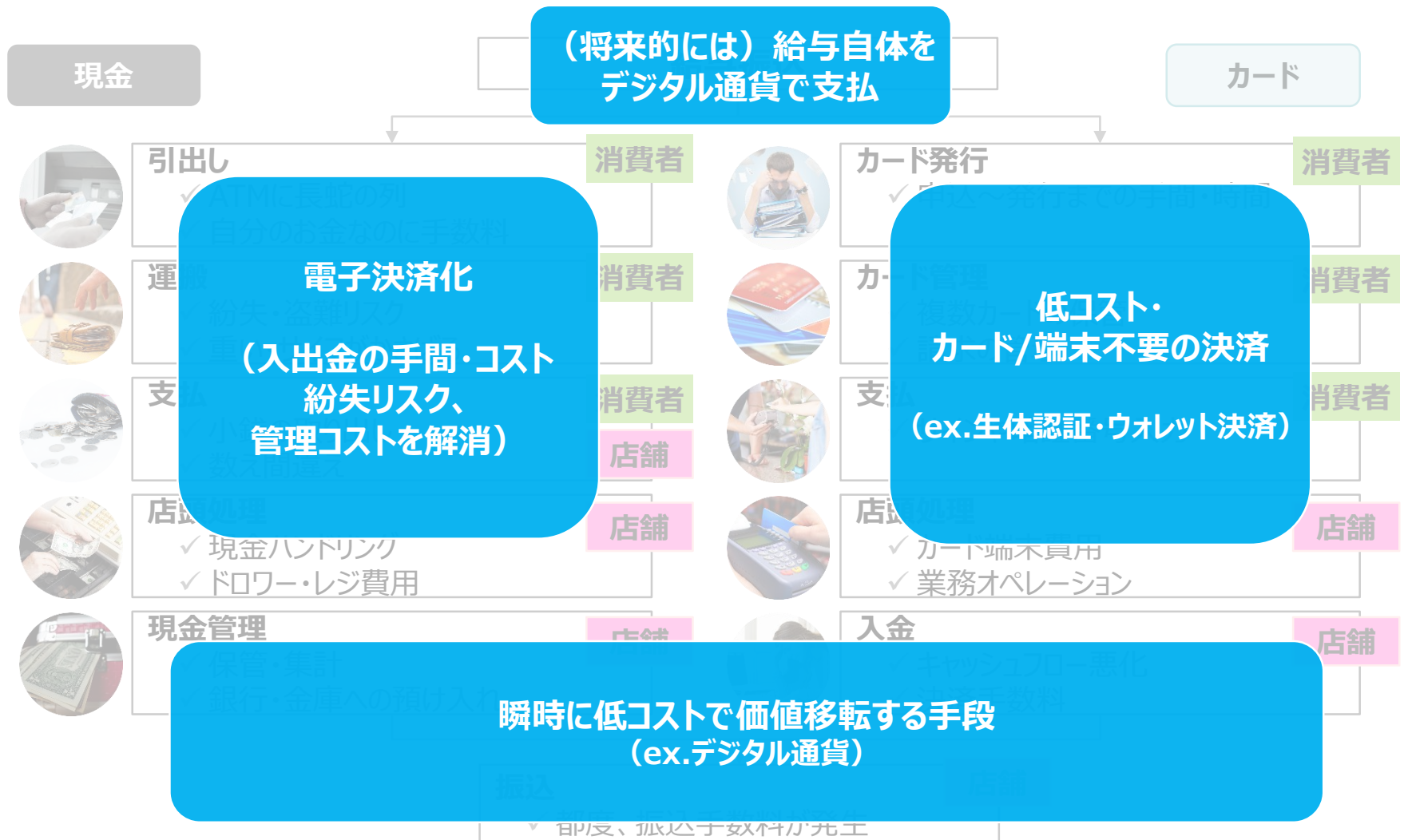
利用者から見た決済

利用者・店舗にとって、多くのコスト（時間含む）が生じている



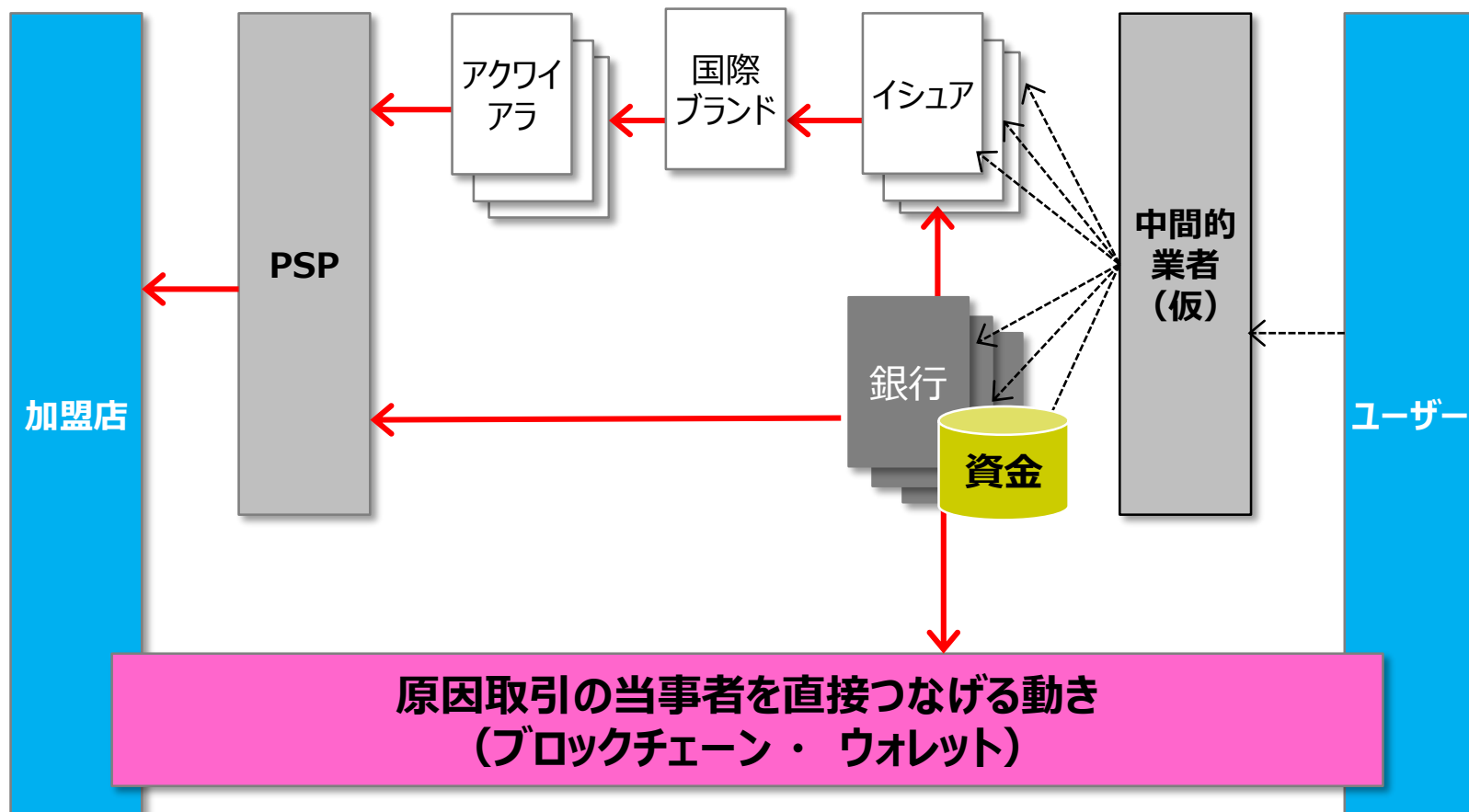
利用者から見た決済

FinTechは、利用者の不便・不満を解消させようとする動き



直接的な決済

取引の当事者同士を、直接つなげていく方法が注目されている



IoT・シェアリング

購入・支払という概念が大きく変化。
マイクロペイメント・PtoPでの価値交換も実現

シェアリング・エコノミー

個人間での支払・認証が広がる



IoT (Internet of Things)

「使った人」・「使った分」・「使い方」によって
利用額が変動。マイクロペイメントも。



オープンイノベーション・APIエコノミー

あらゆる産業とAPI連携。価値評価・価値交換をリアルタイムで 【例：貯金アプリを例とした場合】



貨幣の発展

貨幣は、経済活動範囲と共に常に進化。次のステージも必要

